

（様式第13号）

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

派遣通知（団体）No.		派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	13-037	14-010	21-001
			林 久善	金 志煥	栗田 佳典
派遣先（名称）	NPO法人輪母ネットワーク				
派遣計画書の内容	初回ヒアリング		2024年9月5日	3回次 課題・問題点（活動について考える）	
	1回次 ビジョンの共有			4回次 方法・手段（組織ハードから）	
	2回次 ミッションあるべき姿を描く			5回次 方法・手段（ソフトから）	
派遣回次	4回次		派遣日時		2025年2月13日 12:30～14:00
参加者	地域 4名	人材事務局 3名	区役所 2名	区役所 名	その他 名
活動内容	●派遣依頼内容 団体の組織運営などについて改めて総合的に見直し、運営計画をつくりたい。 ・法人格(認定NPOへの移行)、資金計画(寄付型団体をめざしての資金計画と会計処理の総合的な見直し)、事務スタッフ(将来的な雇用) など				
	●支援内容・プログラム 組織運営を巡る課題として、事務的な業務の外注化があり、現状と今後の展望、外注の事務量・料金などについて、メンバー間で対話するサポートをした。 人材のサポートは、話し合いの進行、外注の事務量・料金等の事例、会計関連のソフトウェアの事例、会計への専門的なアドバイスといった事項。				
	●成果 今回は、ノンコア業務を外注する方法について、サービスメニューと料金を共有できたことが成果と考える。 (例：会計の仕分け40円／1件、その他NPO向け会計支援業務委託20,000円／月) 一方、団体内にギャップがあることも明らかになったことも成果と考える。				
	●今後の予定 私たちが人材としてサポートした結果として、対話を通じて言語化したので、その言葉をロジックモデルに落とし込み団体での対話が継続できるようにサポートする。				
所感	登録no.	名前	所感		
			何をどこまで拡大・充実するのか？という程度の問題を団体内で考えることができるように道筋をつけていきたい。		
			団体内での想いや熱量の違いを埋められる賛同と協力が得られるかが大切です。一人ですることは限られています。その覚悟を次回のミーティングであらためて聞きたいと思います。		
			具体的な事例を提供することでさらに協議は深まった。団体内の不安を言語化しつつ、具体的な実行に移す場合は、振り返りの定点が必要だと感じる。3ヵ月や半年など、やってみてどうだったかを団体内で話し合い、丁寧にステップアップしていくことが大切なのではないかと感じた。		